

【研究主題】 草津市未来計画～ずっと草津～、あおばなプロジェクト

【副題】 クサツリズムを発信しよう！

【学校名】 草津市立草津中学校

1 本校の概要

昭和23年の開校から、JR草津駅の利便性の高さもあり、郊外の新興住宅地の開発が進み、二度の学校分離の後、現在の規模となりました。今も宅地増設により都市化が進んでおり、市内人口は増加しています。

学校目標である「いのちかがやき 心の豊かな生徒の育成」のもと、落ち着いた学習環境の中で、生徒は目的をもって充実した学校生活を送っています。自尊感情や将来にイメージを持った学びの意識を高めるため、生徒一人ひとりに学ぶことの意義や価値について気づかせ、より深く学ぶ心を育てる教育の推進を目標に授業改善を進めています。昨年度から、草津市が推進している事業である「スクールESDくさつ」に取り組み、地域課題の解決に向けた学びを展開しています。

2 取り組んだ内容

(1) 草津市未来計画～ずっと草津～

本校は総合的な学習の時間の中で、地域の課題や状況を調査・分析し、解決に向けた主体的な行動力の育成を図るため、草津市を題材にした活動に力を入れています。今年度は草津市が運営する「まめバス(路線バス)」の運行に、年間1億円以上の財政負担があることに着目しました。各路線の停留所でバス利用者にインタビューを行い、利用目的や年代、時間帯などを調査しました。併せて、各路線の停留所周辺の魅力を再発見するためフィールドワークや取材を行いました。その結果から、各路線の特色をまとめ、路線ツアーとして企画し、利用ニーズに合うような路線観光マップを内蔵したパンフレット「まめぶらMAP」を作成し、PRを行いました。

(2) あおばなプロジェクト

草津市の農林水産課の協力を得て入手した草津市の花「あおばな」の苗を特別支援学級の生徒が栽培し、花卉を全校生徒で採取しました。生徒たちは、花卉から抽出した「あおばな染料」を用いて、何か草津市の産業の活性化に結び付けることはできないかと考え、PRも含め多くの人が使えらる物品としてコースターとトートバックを作りました。コースターには

草津市の名所や名産品、風景を「あおばな染料」を使って描き、生徒一人一人のメッセージを添えました。トートバックには、消しゴムスタンプであおばな染料を用いて模様柄を入れました。

【コースター作成の様子】



3 活動の成果

「まめぶらMAP」については、連携先の公共施設や取材先の商業店舗に設置しました。その後生徒たちの方から、別の学校事業である保育体験学習の中で、園児と一緒に歌える「バスの歌」を作って、園児や保護者に路線バスを活用してもらおうという発想が生まれ、実行に移しました。生徒の振り返りには、保育体験先の保護者の方から「今度おすすめツアーでまめバスに乗ってみたいです」と言われたことが一番うれしかった、とありました。また、あおばなプロジェクトで制作したコースターやトートバックを目当てに店舗に立ち寄られた市民の方の声を生徒たちに伝えたところ「おおっ、役立ってる!」という歓声があがりました。これらの事業を通じて、生徒たちは、主体性や自尊感情を高め、地域についてより一層関心を持つことの大切さを実感することができました。

